

インターネットモニターアンケート結果

1 回答者

合計 76人

性別 男性37人 女性37人 未回答2人

年代 20代5人 30代6人 40代25人 50代13人 60代10人 70代以上17人

2 紙面で紹介した情報の中で、最も興味を持った記事はどれですか。

1面「相模里神楽垣澤社中が新作映像を発信」	25人
2・3面「健やかな体づくりのために」	} 26人
「教育長コラム みらいの種」「イチオン政策」	
4面「エデュナビフェイス」	} 25人
「数字で見るあつぎの教育」	
「親子のための耳よりインフォ」	

3 紙面の中で最も興味を持った記事はどれですか。また、その理由をお聞かせください。

【1面】

- ・竹林でのお写真がとても美しく、印象的でした。是非神楽を見て見たいと思いました。
- ・実演は見たことがないので、興味が湧きました。
- ・特にない。
- ・相模里神楽垣澤社中を初めて知りました。この記事をきっかけに新作映像を視ました。素晴らしかったです。
- ・人形浄瑠璃など、伝統芸能に前から興味があったから。見てみたいなあと思った！
- ・日本古来の芸能を末永く継承できるように学校や公共の場でも公演してほしい！その為の資金援助を今後も行政にお願いしたい！
- ・厚木に住んでいる人が見る機会を増やすべき。
- ・伝統芸能を守り伝えていくことの難しさを感じていますが、今回は垣澤社中はもとより、神奈川県や厚木市の支援で大々的に紹介されていて一市民としても心強く感じています。今後とも郷土芸能の保存のために尽力いただければと思います。市民が郷土を愛する支えにもなっていると思いますのでよろしくバックアップしてください。
- ・映像を見たいと思います。
- ・神楽というものが昔の舞踊のようなものと思っていたけれど、現代にも通ずる大切な神事芸能であり、まさに今、新型コロナという初めての経験に出会って、疫病退散の心が何かに縋りつくしかないのだと感じました。
- ・今話題の鬼滅の刃を彷彿させる写真で、これはなんだろうと、まず目をひいた。
- ・厚木にこのような場所があることも知れて驚いたし、受け継いできたものをこれからも大切にしてほしいと思ったので興味を持った。

- ・新聞にも垣澤さんの記事が載っていたから。
- ・子どもがいないため、特に興味は持てなかった。
- ・竹藪名の中の神楽舞の写眞がかっこよく構図もよくて目をひきました。こういう古い伝統と今の技術の融合はかっこいいです。
- ・伝統文化継承・発展のための取り組みを知ることができた。
- ・楽しく鑑賞できそうだから。
- ・伝統芸能の継承と革新。家元がいるということを知るとともに、頑張ってもらいたいと思う。
- ・役に立った。
- ・日本の伝統である神楽が好きなので。
- ・一度、郷土資料館で垣澤社中のイベントをみてから、彼らの取り組みにとっても興味を持つようになったため、とても興味深く読むことができた。
- ・きれいな映像でした。
- ・神楽に興味がありました。

【2・3面】

- ・緊急事態宣言を受け、体力が下がったと答える人が多いことが分かった。また、厚木市の児童生徒が全国平均の体力よりも僅差で低いことは知らなかったので興味を持った。また、イチオシ政策と記事下部に記載されており、厚木市が今取り組んでいることについてまとまっており、理解しやすかった。
- ・子どもたちの現状を知ることができたので。
- ・教育長コラムで、学習用端末の整備が進められていると知り、コロナ渦での学びに役立ってほしいと思いました。
- ・コロナでも楽しめるイベントがあったのでこれからは密にならなくてもいいイベントを色々期待します。
- ・体力づくりの参考になったので。
- ・サーチウォーク、参加できませんでしたが、またやる時があれば参加したいです。
- ・やはり全体的に体力が低下しているのだということを、改めて知ることが出来たから。昔と異なり、子供達が元気に外で遊ぶ声を聞く機会も少なくなったように感じる。
- ・運動がしにくいので。
- ・健康について皆興味があると思う。
- ・今は、大変困難な状況下に置かれているため体力づくりが生活を最も明るくするものと思います。
- ・昨今の児童の体力のなさが目に余りあるものです。学校だけでは体力の向上には限界があります。外で遊ぶ機会が今の児童には殆どないように思います。地域活動でもよし、サークルに入るのもよし周りの大人たちの協力を得て子供たちが安心して遊ぶ・活動できる場所等を確保しましょう。
- ・自粛生活の今こそ体力づくりが必要だと痛感しました。
- ・大人を含めて、外に出る機会が減ったので、家族で家の近くの散歩や自転車での買い物で、体を動かして行きたいと思う。

・新型コロナウイルス感染防止の為に休校によって、子供達の体力が低下しているとの報告に驚きました。継続的に運動をしないと体力を維持できない事が良くわかりました。更に、前回の東京オリンピックが開催された1964年当時と比較して、身長、体重とも伸びているのに筋力が低下しているとの事、これも驚きました。

・子供達の体力が少しでも向上して、元気よく過ごせることを期待しています。
・今の子は、昭和時代みたいに外で遊んでいる姿をあまりみません。結果、体力測定の数値も低下がみられます。早急な、対策が必要の中、体力向上プロジェクトは重要になってくると思います。

・ステイホームが多い中、体力低下が懸念される中、体力向上の取り組みは非常に良い取り組みだと思います。

- ・子どもの体力低下がテーマになっていたのです。
- ・普段から、からだ作りを意識していますので。
- ・身近な話題なので。
- ・以前より町中で運動している人が少なくなった気がした。もっと運動するべき。
- ・自粛生活で運動の機会が減っているところに開催されたイベントが良いから。
- ・身体と心の健康を人任せでなく、自分で考えていく日々をしたい。

【4面】

・ひじきのふりかけがおいしそうである。
・子どもたちは、給食が大好きです。必ず、おかわりをしています。経済的にも、とても助かっています。子どもたちは、ふりかけが大好きで、ひじきふりかけは、とてもおいしそうで、栄養的にもすぐれているので、3学期がはじまり、家の中が落ち着いたら、ぜひ、作りたいと思っている。

・布の絵本は中央図書館地下の展示を拝見していて、興味がありました。視覚に障がいのある子どものためにももっと広がると良いと思います。

- ・おうちで給食レシピは毎回楽しみに読んでいます。
- ・懐かしい給食を自宅で再現できて良かったです。
- ・給食レシピ、試してみようと思いました。
- ・わかあゆ号は知っていたが2600冊も積んでいるのは驚いた。季節の図書のほか、巡回場所と利用者に合わせて毎日積み込む内容を変えているという、きめ細かいサービスはありがたい。
- ・おうちで給食レシピは家族でとても楽しめます！
- ・人気レシピを期待しています！
- ・教育について興味があったからです。
- ・簡単なレシピなので試してみたい。
- ・いろいろ参考になった。
- ・移動図書館車に2600冊もの本が積み込まれているとは思いませんでした。いろいろなジャンルの本を選ぶとそれくらいになってしまうのでしょうか。
- ・かっぱにあった時の対処法は参考になった。厚木にもかっぱの伝承があったことを初めて知りました。
- ・ずいぶん難しい言葉を使うな。

- ・ かつばの記事、ユニークで面白い。
- ・ 参考になった。
- ・ おうちで給食レシピ、普段見ることのない給食の内容を想像しました。
- ・ 給食は栄養バランスに優れているので、物凄く参考になると思うから。
- ・ おうちで給食レシピは参考になりますし、面白いなと思いました。
- ・ 給食レシピのひじきのふりかけを作ってみたいと思った。
- ・ 参考になる記事ですね。
- ・ 実情が分かりやすい。
- ・ ひじきふりかけを作ってみました。とても美味しかったです。

4 小・中学生の体力を向上させるために、どのような取組が必要だと思いますか。

- ・ 子どもが、図書館の読書手帳を活用しており、いただける景品を楽しみにしているので、運動手帳みたいなもので、運動してスタンプをためるとあゆコロちゃんグッズがもらえる…などはどうかと思いましたが、既に実施されている Genki ポイントと重なってしまいますね。
- ・ 厚木市でご活躍なさっている講師の方に、ダンスや室内トレーニング等の zoom クラスのようなものを定期的に開催していただくのはいかがでしょうか。
- ・ 現在厚木市のスポーツ推進課が開催しているイベントを継続していくことが大切であると思う。また、コロナ禍で人と人との接触や激しいスポーツが敬遠される中でも、ウォーキング(散歩)は誰もが簡単に出来る運動であると考えており、厚木市が有するウォーキングルートの広報強化も重要ではないか考えた。
- ・ (私がそうであったように) チームでのスポーツが苦手な小中学生もいると思う。個性にあった運動を見つけて体力向上ができたらと思う。
- ・ 親御さんにも、子どもの体力不足が将来どんな影響を及ぼすのか、授業参観や三者面談などのときに説明したほうが良いと思います。勉強ばかりに目を向けていると、精神や体力が成長しないと思います。
- ・ 指導者をいれた遊びの時間を多くする。
- ・ ゲーム感覚、遊び感覚で、その子にあった内容をクリアしていくと良いのではないだろうか。例えば、すごろく版で、自分が駒になって進んだり、シールやスタンプラリーをしたり、ちょっと高いところにぶらさげてあるものをとったり、景品をつけたり、校庭で、宝探しをしたり、遊びを取り入れると良いと思う。
- ・ 私の頃は放課後の遊びで伸び伸びと遊べることがあったと思います。今はいろいろ難しくなっていますので、学童保育などで屋外の活動ができるようになると良いと思います。
- ・ 学校の休み時間を長くして、外遊びするように促すことだと思います。
- ・ 毎日、数分の散歩からでも良いので、歩く習慣をつけるのはどうかと思う。
- ・ 校舎内階段の登り降り。校庭内周の速歩き。スタンプカードに押印やシールで達成具合を見える化。例えば 30 ポイントで表彰。
- ・ 密にならないようにしながら、体を思いっきり動かせる内容のイベント。
- ・ スポーツ教室の開催。
- ・ 自分は運動が嫌いなので、まず運動は楽しいと思える取り組みが必要かと思っています。

・放課後の時間に子供達に知識、経験のある大人ボランティア活動の拡大。放課後子ども教室の拡大！

- ・外でできる遊びでクラスや学校全員でレクレーションをする。
- ・多少のケガなどの危険があっても子供たちが自由に走り回れる場所が必要。おじさん、おばさんは子供のころそうやって遊んでいましたよね？
- ・親が外で遊ぶように促す。ゲーム機ではなく、ボールを買い与える等。
- ・今は無理かもしれないが、やはり外で元気に遊ぶ事が必要。
- ・紙面に述べられていることを子供の保護者に対して、機会ある都度積極的にアピールしていくことも大切だと思っています。孫が二人いますが、地元のサッカークラブに入っていて運動を積極的に行っていて頼もしく思っています。おかげで病気もしないで元気に活動しています。スポーツをすることの大切さ、バランスの取れた食事体力の向上に必要なだと思っています。
- ・今の子どもたちは、外で自由に遊ぶのもなかなか制約があるので自由に遊べる場所を増やしてあげたい。ただし全く自由だと大人しい子が使えなかつたりするので、ある程度管理は必要かと思う。
- ・歩数計を配って、毎日何歩歩く！とか目標を立てる。
- ・コロナ禍で室内での運動が制限されている中、やはり外で走ったり、競歩などで無理のない体力作りなどがよいのでは。
- ・公園等、運動が出来る場所の整備。また、そこへ向かうまでの道路の整備等。
- ・子供が、遊べる場所。心の広い大人！
- ・今の流れとリンクさせると自分から行動しやすいと思うので、WIIのようにゲームを取り入れた試みや、クラス対抗など目標を定めるのもいいと思います。
- ・家庭内でも簡単にできる軽い運動の大切さなどを伝えること。
- ・親の指導。
- ・強制的に運動をさせるプログラムを作る。
- ・外で活発に運動する子供が減っているように思います。体力づくりは毎日の少しずつの行動しかないと思います。楽しくなければ長続きしませんから、ゲーム感覚で毎日ミッションをクリアするような、そして最後にゴールするとご褒美が待っているようなものがあるとやる気が出るのではないのでしょうか。
- ・厚木サーチウォークという物を町で見かけましたが、あまり一般に浸透してなくて何か怪しい集団に見えました。電柱の番号も面白いと思いますが、町の地図をナビゲーションではなく、手書きで作るのも良いと思いました。
- ・戸外や運動場で遊ぶ環境を整えること、時間を確保すること。
- ・自分を強く出せる子が場所を牛耳っている傾向があるように感じる。トラブルを好まない子も安心して遊べる環境を整えてあげる必要が、現代の子供達には必要なのだろうか？
- ・毎日、短いトレーニングタイムを設ける。
- ・外で遊ぶ時間がほとんどない。場所もない。意識して遊びや運動を取り入れるように学校で活動してほしい。
- ・筋トレと走り込み。基礎的な部分を鍛えないとスポーツに反映できないから。
- ・腕立て伏せや腹筋運動をすればいいと思います。縄飛びやマラソンなど、基礎体力作りをすれ

ばいいと思う。

・自由に遊ばせること。市内には自然がたくさんあるから、それらを活かそう。駅前開発の費用をそっちに回そう。

・基礎体力づくりの、正しい教育と指導者づくり。

・ランニングを中心とした運動が効果的だと思う。体力がなければ、コロナにも勝つことはできない。

・周りの大人たちの協力を得て子供たちが安心して遊ぶ・活動できる場所等を確保し市の担当者と協力し積極的に啓蒙活動を推し進めましょう。学校での体育等の授業が少ないように思います。特に水泳の時間が殆どないです。水泳は全身を使つての運動になります。この授業だけでも体力が向上されます。また、冬の持久走も大切だと思います。耐寒訓練等も実施すればよいのではないのでしょうか。

・社会全体で子供たちの体力づくりを支えていけたらと思う。

・校庭に、とび箱や平均台を置き、10m間の蛙飛びやケンケンで、1周100m位のコースを作つて楽しんで、遊べるようにして体力づくりをする。

・放課後、子供たちが運動に割く時間が少ないし、運動をする場所も少ないと思います。中学校は部活があるので、放課後の校庭の開放は難しいと思いますが、小学校で曜日を決めての指導員の立ち合いの元、校庭開放をやる事は如何でしょうか？

・学校内で自然と体を動かす教育を増やしていくべきです。なんでもITでバーチャルな世界で肉体を使わなくなってきたので、走る、モノを運ぶ、などの基本動作から教えていかないといけない時代と感じています。

・持続できる簡単体操。

・運動やスポーツをすることができる環境づくり。

・ラジオ体操を行う。

・まず、基礎的なところをしっかりとしないとケガをしてしますので、専門家を含めた取り組みが必要かと思います。

・小中学生が魅力を感じるものと掛け合わせたもの。リサーチが必要かと思います。

・体育の授業内容の充実。

・今は、塾とゲームで体力低下は避けられないところですが、月1回、大学生や地域の人によるリアル鬼ごっこ（「逃走中」）、オリエンテーリングなどを企画したらどうでしょうか。子どもたちだけでは、外で遊ぶよりゲームの方が楽しいと思うので、何か企画した方がよいような気がします。

・体育の時間アップ。

・自然と身体を動かしていた、みたいな感じのものを取り入れるとか、身体を動かすのが嫌いな子の苦手意識を失くすとか。

・早寝早起き。

・難しい問題だと思いますが、運動が好きの子だけでなく、運動が苦手な子にも興味を持ってもらう取り組みづくりが大事だと思います。

・今の学生は年寄りみたいなのばかりに見えます。若さがないというか…。学校、家庭、地域の役割分担を明確にして…きちんと体力づくりから始めるべきでは？（剣道などの武道を必須にするべきかと）

- ・外で遊ばせる。
- ・親に運動習慣をつけさせ、それを子供に伝搬させる。(親も運動低下世代)
- ・自然の中で遊ばせる。
- ・大人が与えたものではなく、自分達で考えた、見つけた遊びをさせるようにする。電子機器から遠ざける。
- ・健康体操。
- ・遊びの中に鬼ごっこなど、楽しみながら体力につながることを常に取り入れていくことが大切だと思う。
- ・適度な運動。
- ・今年は、運動会も中止になったりして、体力の向上にいささかの不安を覚える。コロナの影響があるまでは、体育の時間などでは、基礎体力をつけさせることが必要だと思います。縄跳びや密にならないミニミニ運動会の実施など考えていただければいいと思います。
- ・先生と遊びましょう。
- ・遊びを含めた、日常生活で「体を使う・動かす」機会作りの啓発が必要だと思います。歩く、走る、投げる…大事な動作ですね。
- ・順位決めをしない、自分の目標だけのスポーツにすべき。
- ・私は運動神経が悪かったのですが、学校のスポーツイベントに向け、体育や休憩時間に特訓などをしたのが楽しかったので、スポーツイベントがあると良い。
- ・楽しくからだを動かせるゲーム。
- ・コロナなどの問題がありますがエビデンスをしっかりと見ながら子供達の健やかな健康のために体を動かす時間を大人が作ってあげるの大切だと思います。
- ・塾を拡張して、高学力と基礎学力に分けて学校の授業を半分任せ。

5 今回の教育委員会日より「Edu Navi」について、意見、感想があればお聞かせください。

- ・コロナ禍でも、学校の先生方が、子どもたちのために色々心を尽くして関わってくださっているのを感じます。コロナ禍における、先生方のお気持ちやご尽力について、知りたいな、と思います。
- ・全体的に記事が明るく、写真などインパクトのある広報誌だと感じた。デザインも内容も飽きることのないよう作成されており、良いと思った。
- ・[info]のかっぱの記事に微笑みました。立派なEduですね。
- ・分かりやすく参考になりました。
- ・あまり通常の広報と内容が変わらないような気がする。もっと教育現場を掘り下げてほしい。
- ・色々できる環境があればよいと思う。スポーツが苦手でも、楽しめることがあれば、良いと思う。体を動かした後の爽快感を感じてほしい。
- ・中学生の情報を増やしてほしいです。
- ・かっぱに会ったときの対処法、面白かったです。
- ・4面のかっぱの話が面白かったです。今後も親子で楽しめる記事があると嬉しいです。
- ・厚木がより良い子育て地域になって欲しいです！

・サーチウォークとても楽しかったです。もう少し範囲が狭いと完歩できてよかったかもしれません。

・給食レシピが良かったです。

・毎回楽しみにしています。

・子供と大人両方が興味をもって郷土芸能を楽しむ必要があるかと思う。

・子どもがおらず学校情報を知る機会が無いため、とても参考になります。

・楽しかった。

・読者に対して説得力のある内容になっていると思います。大変参考になりました。市民、特に若い人たちに是非読んでいただきたいと思いました。

・コロナ禍でも出来る楽しいことを紹介して欲しいです。

・給食レシピを楽しみにしています。いつも市販のひじきふりかけを買っていますが、今回のレシピで作ってみたいと思います。

・定期的に発行していただくことにより、現状を知ることが出来ている。

・市民の声などの掲載があるとより興味が持てるのではないかと感じました。

・厚木市の教育についてもっと知りたくなりました。

・なるほどと思うことが結構ありましたが、何かいまいち記憶に残る記事がないのです。なぜだろうと考えていたら、コマ割りで色々な情報が詰め込まれているので、どこに注意して見たら良いのか、何が今月は新しい発見になったのか、教育委員会だよりとは何かなど考えてしまいました。今、教育委員会でこんなことが問題になっていて、皆で一生懸命に悩んでいるのだけれどもみたいな事が少し聞きたい気持ちです。それに対する一般の方たちの意見も出してもらえたら勉強になります。

・今まで学校活動の写真が多かったイメージだが、学校活動にとどまらず、ちょっと幅が広がったなあと感じた。教育委員会だよりだが、生涯学習にまで広げて記事があると、もっと面白いのかなと思った。

・コロナ関連の情報が充実するとよい。

・もう少し発行回数を増やしてもいいのでは？

・厚木の上古沢にも河童が目撃されていたのは知りませんでした。あちこちにいるものですね。

・かっぱに会った時の対処法など子供だけでなく、高齢者でも興味を持ちそうな記事が増えると面白いと思った。

・もっと、広報活動に力を入れて、今、学校で問題となっている生徒の教育と、教員の置かれた立場を広く伝えなければならない。土日でも朝6時30分ごろに部活と思われる生徒が登校する姿を見ると、教員の負担はどのようになっているのか、理解できない！

・特にないです。今の方針で良いと思います。

・毎回思うのですが紙面の頁が限られていると思うのですが、字が小さい、写真も。特に写真が大きいとインパクトもありより強く訴えることが出来ると思います。

・子供達だけでなく高齢者の体力作りにも社会全体で関わっていけたら良い。

・昨年から、地域の「青少年育成会」のお手伝いをしているが、教育に関係している人たちは、皆さん予想以上に努力している人が多いと感じているので、コロナ渦も乗り切れると思っている。

・今、小中学校で起きている事を市民の皆さんに、お知らせするようなコーナーを持つては如何

でしょうか？

・体を動かすは健康のため、だけではなく、昔は自然と身につけていた、身のこなしかたや、重いものを運ぶ（腰に負担なく）などのやり方も知らない子供が増えてきています。学校は怪我をさせると責任問題、とされる難しい時代ですが、学校の活動で自然に、身につけていってほしいと思います。

・特に、運動が苦手で、スポーツに親しめない子供達の体力向上の策をもっと知らせてください。
・教育長コラムのなかに「ICT」が語られていたが、この件についての厚木市の取り組みについて詳しく知りたいと思っているので、ぜひ特集を組んでほしい。

・役立つ情報が多かった。
・たまにはページ増量でもりだくさんの情報があっても良いかなと思います。（年に1回とか、別冊的なものなど）

・給食レシピ、なかなか好評です。
・内容が豊富であり、読み応えがあった。
・いつも思うのですが、とてもきれいで読みやすいです。業者さんが作成しているのでしょうか。それとも、教育委員会の人を作成しているのでしょうか。

・給食特集みたいな感じを見てみたい。カラー写真で年間のメニューで振り返るとか。
・興味深かった。
・普段は考えることのない問題もあり、興味深い内容だと思いました。
・こどもの体力向上は難しい問題ですね。
・こどもの体力低下は、40年前？の私が子供の頃にはすでに言われている問題で、永遠のテーマかと思います。ますます、電子デバイス、自力で動かなくてもいろいろな事のできる便利になる世の中では、なかなか解消が難しく、関係者にとっては頭がとても痛い問題だと思います。

・コロナ禍の中での運動能力の低下は、世の中全般に言えることで、1日1回は、外の空気を吸いに行こうと周りの人たちと声をかけながら、活動に結びつけられると良いと思う。
・巻末に掲載されていた「かっぱ」の話は特に面白かったです。
・特に「不登校」に関わる状況や改善への取り組み等を教えて欲しいと思います。
・スマホ依存で運動しないような人が出ないような取り組みを引き続き周知してほしい。
・学童を持たない家庭には関心がないから、非行やいじめを取り上げるべき。
・現場の声、一般の声を教えてほしい。
・一度、編集などに携わってみたいのですが…。